

第18回 河内長野市地域公共交通会議録

会議名称	第18回 河内長野市地域公共交通会議
開催日時	平成25年7月3日(水) 午後3時30分～
開催場所	河内長野市役所 602会議室
公開・非公開の別 (非公開とした 場合はその理由)	公開
傍聴者	2人
出席委員	別紙出席者名簿のとおり
会議次第	<p>(1) 地域公共交通確保維持改善事業(地域協働推進事業計画)について</p> <p>(2) 地域公共交通確保維持改善事業(生活交通ネットワーク計画【地域内フィーダー系統確保維持計画】)について</p> <p>(3) 路線バス(千代田線)の上限200円運賃の試行運行について</p> <p>(4) 路線バス(南青葉台線)のフリー乗降の実施について</p> <p>(5) モックルコミュニティバス上限200円運賃の試行運行の利用状況等について</p> <p>(6) バス利用の手引き・バスマップの作成について</p> <p>(7) その他</p>
会議内容	別紙会議内容のとおり

第18回 河内長野市地域公共交通会議内容

発言者	会議内容（要旨）
事務局 （松坂）	<p>只今から、平成25年度 第18回河内長野市地域公共交通会議を開会させていただきます。本日の出欠状況ですが、内見委員が欠席されると伺っております。また、本日は、田中委員の代理といたしまして野村様に、川幡委員の代理といたしまして、渡辺様にご出席いただいております。つづきまして、この度、人事異動等によりまして、委員の変更がございましたので、事務局よりご紹介させていただきます。近畿運輸局 大阪運輸支局 輸送部門 首席運輸企画専門官の黒田委員に代わりまして、同じく近畿運輸局 大阪運輸支局 輸送部門 首席運輸企画専門官の藤本様が、南海バス株式会社 企画部 企画課長の松平委員に代わりまして、同じく南海バス株式会社 企画部 企画課長の植田様が、河内長野市老人クラブ連合会会長の濱田委員に代わりまして、同じく河内長野市老人クラブ連合会会長の曾和様が新たに委員となりました。それでは、この後の議事進行につきましては、会長にお願いをいたします。</p>
向井会長	<p>改めましてこんにちは。皆さまの活発なご議論で実りある会議にしたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>まず、規則第8条第1項の規定によりまして、委員の半数以上の出席をいただいておりますので、会議が成立していることをご報告いたします。また、この会議は、規則第8条第4項の規定に基づきまして公開とさせていただきますのでよろしくお願い申し上げます。</p>
向井会長	<p>【議題1】</p> <p>それでは、早速議事に入っていきたいと思いますが、議題の（1）及び（2）は、国の補助制度であります地域公共交通確保維持改善事業についての計画でありますことから、大阪運輸支局の野村様より制度の概要についてご説明いただきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p>
大阪運輸支局 （野村）	<p>（大阪運輸支局より、地域公共交通確保維持改善事業について、参考資料1-1の説明）</p>
向井会長	<p>野村様から国の制度についてご紹介ありまして、この会議で承認を得る必要があるということですので、事務局から資料に基づき説明をお願いいたします。</p>

事務局 (水上主査)	(事務局より、地域公共交通確保維持改善事業について、資料1の説明)
向井会長	何か委員の皆さまご質問等はありませんでしょうか。
日野副会長	第2期連携計画が24年度から26年度までですよね。今回3ヶ年計画を出さないといけないので、25年から27年度になっていますが、再申請しないといけないとか、今回受ければ全部いけるとかではないのですか。途中で変更しないといけないとか。
大阪運輸支局 (野村)	1年ごとに申請はいただきます。交付申請というのを最初にいただく必要があります。
日野副会長	3ヶ年計画で年度ごと、毎年度申請するということですね。
大阪運輸支局 (野村)	そうです。補助金が出るのは最初の2年間ですね。
日野副会長	その次の第3期になってもそれは関係ないのでしょうか。3期になったらもう1回できるとか、そういうものではないと。
大阪運輸支局 (野村)	1回だけです。
日野副会長	そうすると、3年目は補助が出ないからこの会議の中の予算でできる範囲のことをやるということですね。
浅井委員	参考資料 1-1 の下段のところの地域協働推進事業というところの内容の中で、行政、事業者、住民、地元商店街等で地域ぐるみによる利用促進をしていくということになっていますが、この計画の中でさまざまな取り組みを、例えばバス利用の手引きであるとか、バスマップの作成、あるいは観光資源とのタイアップによるモデル等のチラシの作成というのを書いてくださっているんですが、行政だけがマップなりチラシを作っていくのか、あるいは地域の商店街とか地域の方々と一緒に地域ぐるみでこういったものに取り組んでいくということなのか、そのあたりがこの文面だけではわかりにくかったので教えてください。

事務局 (水上主査)	今のところ、計画に入れさせていただいているバス利用の手引き、マップの作成・配布につきましては、南海バスさんと協働で作成するようにしております。その次の、観光資源までのアクセス方法のチラシの作成・配布につきましては、商工観光課でありますとか、そのあたりとタイアップしたり、地元の商店街さんとタイアップして作成するつもりで検討しております。
向井会長	これから地元の商店主さんや観光ボランティアのグループと色々話をしたいということですね。
事務局 (水上主査)	そうですね。ご協力いただいて作っていきいたいと考えております。
向井会長	他に委員のみなさま何かお気づきになられたことはありますでしょうか。それでは、議題（１）については、よろしいでしょうか。
向井会長	<p>【議題２】</p> <p>それでは、次に、議題（２）地域公共交通確保維持改善事業（生活交通ネットワーク計画【地域内フィーダー系統確保維持計画】）について、事務局から説明をお願いいたします。</p>
事務局 (水上主査)	（事務局より、地域公共交通確保維持改善事業（生活交通ネットワーク計画【地域内フィーダー系統確保維持計画】）について、資料２の説明）
日野副会長	確認ですが、２点ありまして、１つは、年度ごとの積算が若干違うのは、路線ごとに積算基準があるんですかね。運行にかかる経費ですけど、２５年度、２６年度、２７年度路線によって少しずつ上がってますよね。これは、何か路線ごとの積算根拠があって積み上げるとこの金額になるということでしょうか。
南海バス (坂口)	金額が違うというのは、３ヶ年の実際の日数ですね。例えば、平成２７年度であればうるう年になりますので、そういう部分で計算しております。また、平日と休日ダイヤを分けておりますので、平日の数、休日の数、そのあたりを積算していった結果、若干運行回数が変わってきますので、こういった結果になっております。
日野副会長	もう１点、この補助事業は、最初の年度は良いとして、運行回数の維持とか輸送人員の維持とかは、そのあとの申請等に制約条件になることは

	あるんですか。
大阪運輸支局 (野村)	利用者を増やしていく施策というのは、当然、事務局とか、この会議ですとか、南海バスさんにしていただく必要はあります。
日野副会長	運行回数の維持については、補助をもらった事業者さんとして話すことはないと思うんですけど、お客さんが乗ってくれるかどうかだけでは難しいでしょうから、今おっしゃっていただいたような何かの仕掛けを、増えなくても努力はするということなんじゃないかな。具体的にこうならなかったらだめですよ、ということではないんですよ。
大阪運輸支局 (野村)	そうですね。ただ、昨年度のこの会議でもありました、ノンステップバス導入の評価はありますので、その段階でまた出てくるかと思います。
向井会長	他に何かご質問等ございませんでしょうか。今の議題(2)については、先程の議題(1)とともに国土交通省に申請をするのですが、細かな点の変更や修正等は事務局にご一任いただくということでよろしいでしょうか。それではそのような形でさせていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。
向井会長	【議題3】 それでは、次に議題(3)路線バス(千代田線)の上限200円運賃の試行運行について、事務局から説明をお願いします。
事務局 (水上主査)	(事務局より、路線バス(千代田線)の上限200円運賃の試行運行について、資料3の説明)
向井会長	30分に1本の間隔ということは、この路線バスも1時間に1本のペースで走っているのですか。10月1日からは30分に1本ということになるんですね。
事務局 (水上主査)	そうです。特にモックルコミュニティバスの要望として、9時までに医療センターに着きたいという話がよくあるのですが、8時33分河内長野駅発の千代田線に乗っていただくと、医療センター到着が8時58分となります。医療センター発の12時台の便がないということにつきましても、医療センター前発が、千代田線ですと12時6分というのがございます。あとは先程申し上げましたように、1時間に医療センターから出る分としては2本になる、概ね30分に1本あるということになり

	ます。
向井会長	現在の千代田線の利用者の人数は月間どのくらいでしょうか。わからなければまた後で資料でもあれば。 では、委員の皆さま、何かご意見等ございましたらお願いします。
日野副会長	モックルの200円上限もそうですが、試行ですので、評価をしないとイケないかなと思うんですけど、なかなか見通しが難しいかもしれないんですけど、何か評価の基準というものについては事務局で検討されてますでしょうか。
事務局 (水上主査)	基本的には利用者数を増加させて、200円の試行に伴う赤字負担を0に近づけて本格運行にもっていくというところでございます。
日野副会長	基本的に試行運行したときの評価指標の設定だとか、基準の設定、それから本格運行に移行できるような条件については、今後は例えば運行条件を見ながらこういう会議の中でも検討するようなことは可能ですか。
事務局 (水上主査)	今後は利用状況につきましても報告させていただいて、会議の中で検討していきたいと思います。
日野副会長	市民委員さんとか関係者の方も出られてますので、こういうことをやっていく、ということについてはご理解いただいて、周辺の皆さんに周知をしていただいくことが大事だと思いますので、この会議だけでないと思うんですけど、少なくともこの会議の中で議論をして、地元とか関係機関などに下ろしていただくということをぜひお願いできたらと思います。
向井会長	この新たな展開について、委員の皆さま何かお気づきのことがありましたらおっしゃってください。
堀委員	医療センターに9時に着きたいという方がおられたということですけど、8時ぐらいから受付が始まります。結構お客さんが待ちますので、大きい病院へ行かれるときは1時間くらい早く行くのが普通だと思います。9時からだと遅いです。それで、自分の車にしたり、家族に送ってもらったりという形になりますので、早い便があるんでしたらいいのですが。車で行けない方を対象にするのであれば、それでもいいかもしれませんが、車で行かれる方にもバスを利用してくださいという方向にも

	<p>っていくんでしたら、その辺ももう一度考えていただいたほうがよいかなと。1時間早い便というのは利用するのも大きいと思います。私も車や自転車で行くんですけど、車で行くと半日くらい駐車しますので、他の家族が使えないとかあるので、できたらバスで行きたいと思うんですけど、そういう問題があるので、もう一度再検討していただいたら良いかもしれません。</p>
事務局 (井上課長)	<p>病院の方にご協力いただいて、アンケートを実施した中で、おっしゃる通りかと思います。我々が今のところできるのは、与えられた条件の中で、一つでも便利な状況にして、それからご議論をいただいて増やしていくという状況になるかと思います。今のところ、そこまでいくということはできないというのが現実としてありますので、今ある既存の資源を有効に利用して、なおかつ皆さまのご希望を得られるような考えで今やっております。</p>
堀委員	<p>皆様ご存知だと思うんですけど、駐車場も早い時間に埋まります。一度には無理かもわかりませんが、今後考えていただいた方がより利用者は増えるかなという気がします。</p>
向井会長	<p>ありがとうございます。他にこの路線バスの上限200円運賃の展開についてのご意見はよろしいでしょうか。</p>
事務局 (水上主査)	<p>千代田線の利用状況について、ざっとになりますが12万人ぐらいでございます。</p>
向井会長	<p>平均すると月に1万人が利用されているということですね。それを200円にして、より一層多くの方に利用いただくということですね。</p>
事務局 (水上主査)	<p>そうですね。千代田線を200円にすることによって懸念しているのは、モックルコミュニティバスが減ってしまう可能性があるというのを考えているんですけども、いずれにしてもモックルも千代田線も合わせて利用者数が増えれば、それは市として活性化につながるのではないかなということで、相乗効果で利用者数を上げたいと考えておりますので、よろしくお願いします。</p>
向井会長	<p>堀委員もおっしゃったように、時間の問題も含めて非常に行きやすくなって、帰りも待たなくても帰れるというような仕組みで全体をしないといけないと思います。</p>

	<p>それでは、上限200円運賃の試行を10月1日から実施するという ことよろしいでしょうか。</p>
向井会長	<p>【議題4】 それでは、議題（4）路線バス（南青葉台線）のフリー乗降の実施につ いて、南海バスさんから説明をお願いします。</p>
南海バス （大木）	<p>（南海バスより、路線バス（南青葉台線）のフリー乗降の実施について、 資料4の説明）</p>
向井会長	<p>荘園町の利用状況を見ると、これによって利用客が増えると楽しみにし たいですね。 それでは、委員の皆さまいかがでしょうか。このように、荘園町で実績 をあげているということで、できるだけ高齢の方も日中のお出かけが 少しでも楽になるようにということです。乗務していただく方はかなか 大変かもしれませんが、どうぞよろしくお願ひしたいと思ひます。</p>
坂本委員	<p>方向性はとり違えないようにだけお願ひいたします。約2年間私も乗務 しておりまして、現場を見た感想なんですけど、荘園町に関しては2年間 経ちますが、住み分けがすごくできていると感じます。60歳までのサ ラリーマンの方やOLの方もいますけど、ほとんどの現役世代の人はバ ス停で乗られます。荘園町のバス停は距離がありますが、その間で高齢 者の方が乗り降りされているというのが現状です。それは運転する方 にとっても一番有効な使い方かなと感じておりますので、あえて言わせ ていただきました。それと違う面で、お客様目線と乗務員目線では見方が 違うということも感じられました。例えば、駐車車両とか坂道の途中で 停まってほしいという例があったとすれば、乗務員からすれば交差点の 先まで行かなくてはいけないのに、というような目線の違いでお客様に 迷惑をかけたという乗務員の思いもあります。今の荘園町では順調に運 行させていただいておりますが、次の青葉台の方は全体のフリー乗降区 間の6、7割が上り坂で勾配がきついというイメージですので、運転す る側からするとすごく怖いんです。平坦なところで停まるのと、勾配が あるところで停まるのでは、ずっと停まる状態にするのがプロですが、 そうではないときもあるということから、乗っていただいているお客さ んにとって大変危険な状態なので、そこのところを気にしています。青 葉台の上から下るところで横断歩道がありますが、勢いよく下っていっ たら、横断歩道の前で停まれない可能性があるんです。乗用車でその道 を下る方もおられる中で、バスが停まって周りが事故を起こしたら情け</p>

事務局 (井上課長)	<p>ない話ですので、あえて言わせていただきますけども、勾配が急な上り坂で上りきったところでバスが停まったら、後ろからはバスの後姿は見えても対向車は見えなくなります。そういった面も含めて、安全面のことを考えていただきたいと思います。バス停があることによって、ここは停まる可能性があるという認識を持てると、あえて言わせていただきます。一方的な意見ばかりで申し訳ないですが、よろしくをお願いします。</p>
向井会長	<p>他に、委員さんで何かお気づきのことありますか。</p>
濱本委員	<p>荘園町に住んでいますが、大変助かっています。荘園町も青葉台さんと同じでバス通りからまだ中の方に筋がたくさん分かれていますよね。そこから今までのバス停に行くというよりも、バスが走っている突き当りの筋のところで皆さん乗られるのをよく見ます。</p>
日野副会長	<p>前から事務局にもお話ししていますが、今回の南青葉台も含めて、皆さんがどこから乗られてどこへ降りられるとか、今お話にあったような課題とかですね、そういったことをできるだけ情報を集約して、もちろん警察の方も交通安全については敏感になっておられると思いますから、安全に導入するための条件などを最終的に整理されたほうが良いと思います。地方の田園地帯といった過疎地のフリー乗降はありますが、都市部はあまり実績としてもないと思いますので、そういうものを積み上げながら、より安全に導入できる仕組みのようなものを考えてもいいと思います。河内長野方式のようなものです。特に河内長野みたいな地形上、上り下りがあって、地元の方々もいろいろ工夫されて、ここはやめとこうみたいなことを考えておられると思いますから、そういったことも含めて、ぜひ整理をしていただいて、結果的にこういう形でこういう場所に導入すると安全で、なおかつお客さんも増えるということができれば、この連携計画の中でも一つの大きな実績になるんじゃないかと思いますので、南海バスさん、地域の皆さんからの声はこれからできるだけ集め</p>

	<p>ていただけたらと思っています。</p>
向井会長	<p>ありがとうございます。 それでは、議題（４）についてはよろしいでしょうか。</p>
向井会長	<p>【議題５】 次に、議題（５）モックルコミュニティバス上限２００円運賃の試行運行の利用状況等について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局 （田中）	<p>（事務局より、モックルコミュニティバス上限２００円運賃の試行運行の利用状況等について、資料５の説明）</p>
向井会長	<p>事務局から説明ありましたように、同伴者割引を１０月から実施するというので、何か委員の皆さまご意見ございませんでしょうか。</p>
日野副会長	<p>高齢者支援と活性化と異世代交流というのがセットで、高齢者の方の乗車の際の同伴者無料を考えてまして、今回もアンケートだからわかりませんが、６０代以上だと老夫婦ですとか、お孫さんだとかですね。それから、６０歳未満だと夫婦だとか、父母と言ってますので、いわゆる高齢者の方と一緒にいられるということですね。あと、利用の人数を見ますと、私が思っているような状況が実現できるのではないかなんと思ってるんですね。心配なのは、たまたま隣りあわせで若いもの同士で１人無料になるなということも心配でありますけども、当面お客さんが増えるということが大事なのと、こういうアンケート調査を踏まえれば基本的には高齢者の方々が中心に、他の方と一緒に乗っていただけるといようなことではないかなんと思ってるので、とりあえず試行をされるということについては良いのではないかなんと思っております。先程の南青葉台の中の意見でもあったんですけど、目的あったら行くけどとか、あるいは特に用事ないから行かないとかですね、我々ももうしばらくしたら引退する時期にきますけど、何かがないとなかなか自分から外へ出るということをしてないんですよ。そういうときに、お孫さんとか、お子さんとかでせっかくやから行こうとか、我々が病院行くときに一緒に行って、買い物をした後で一緒に行つてというような、人も二倍動くし、たまには駅前で食べて帰ろうかということで、活性化ということにも貢献するかと思いますので、試行を重ねてぜひうまくいくようなことを期待したいなと思ってます。</p>
向井会長	<p>それでは、良い結果になるように楽しみにしたいと思います。</p>

	【議題6】
向井会長	それでは、最後の議題（6）バス利用の手引き・バスマップの作成について、事務局から説明をお願いします。
事務局 （松坂）	（事務局より、バス利用の手引き・バスマップの作成について、資料6の説明）
向井会長	事務局から説明ありましたように、前回も色々ご意見があって、事務局からは二者択一ということなので、ご意見をお伺いして、どちらかでスタートし、反応を見てまた改善していくという形になろうかと思いますが、お気づきの点があればご意見いただくとありがたいです。
辻野委員	路線の数と色がたくさんあるので、じっくりと見ないと下の凡例との整合が難しいかなと。自宅ではどこかに貼ってということもあったので、じっくり見て慣れれば可能かなと。ただ、改善された方が良いかなと思うのは、市域の境界のところはブルーの線なんですが、バス路線のイメージとよく似ているので、市域とわかる境界線を明らかにした方が良いのかなと思います。あとは使い勝手をどう求めるかですね。
奥村委員	凡例の中に病院、スーパーがありますが、病院名とかは具体的に出してはいけないのでしょうか。マークだけだとどこの病院なのかわかりにくいなと思います。
事務局 （松坂）	それはまた考えて、入れれるものは入れたいと思います。
日野副会長	抜けるとまずいですよね。こういう病院とか、他の店舗とか。その辺はちゃんと網羅してやらないと。
事務局 （井上課長）	名前入れるところは宣伝費とるとかですね、そういうことは考えたいと思います。
阪上委員	裏表ということは家の中で貼れないのかなと。
曾和委員	もうちょっと良い色合いになりませんか。
向井会長	これは、色合いのイメージ、紙の質は違うよね。

事務局 (松坂)	今回は庁内のプリンターで作ったものなので、実際に出すときは印刷業者さんをお願いして、色も相談しながら変えたいと思っていますので、実際できるものはもう少し見やすいかなと思います。
向井会長	裏面は白黒ですか。
事務局 (松坂)	カラーで考えています。
堀委員	滝畑ダムまでの地図はカットせざるを得ないのでしょうか。どこかに載っているかと思ったらカットされていますので。
事務局 (松坂)	大きいほうは左下に入れていますが、A3の方のスペースではちょっと難しいですね。
堀委員	滝畑のところだけですかね。
事務局 (松坂)	石見川のほうは入りきってないです。あとAとBの方もですね。A3の場合なら枚数も増やせると思うんで、例えば、滝畑の地図を別で1枚作ることもできるかなと思います。
堀委員	A3サイズはセットで配布するんですか。それとも、それぞれ必要な分だけいただくという感じですか。
事務局 (松坂)	4枚であれば4枚セットのままというふうに考えています。
日野副会長	費用はだいぶ高くなるということですか。
事務局 (松坂)	見積もりはまだなんですが、1枚ものよりも4枚もののほうがサイズが小さくても高くなるかと思います。
事務局 (水上主査)	印刷につきまして、案件1でお話しました地域協働推進事業で承認されれば、予算も増えますのでより良いものが作れると思います。
坂本委員	現場で最寄の停留所をよく聞かれるんです。例えば、花の文化園でしたら、昔は中高向から平坦な道をとということでした。上高向が最寄と車内放送案内をしています。足腰の弱い方だったらどちらを推薦すべきか、

	<p>どうしようかというところもあります。</p>
向井会長	<p>花の文化園とか天野山金剛寺とかはポイントになるところを掲載しているんですよ。</p>
事務局 (松坂)	<p>あまり細かくなならないように絞って掲載しています。</p>
濱本委員	<p>バス路線で重複して同じところの色が同系色で見にくいと思うので、はっきりとわかりやすい色にしてもらったほうが良いかなと。特に滝畑とサイクルセンターのあたりなんかは、手前で停まっているのか、同じところまで行っているのかとか、何点か気になりました。あと、使えるようでしたら黒線のバスラインというの。みんな統一して何かしらの色にしたほうが良いのではないのでしょうか。</p>
向井会長	<p>それでは、このような体裁で事務局の感性に委ねるということで、この大判にするかA3にするか賛否をとって、どちらか人数多いほうでやりたいと。今のところ今回作って1年更新ということにはなりませんよね。</p>
事務局 (水上主査)	<p>協働推進事業の中で言いますと、とりあえず一旦どちらかで決めて、発行させていただいた上で、利用者の声も聞きながら考えていきたいです。</p>
向井会長	<p>それでは、賛否をとりたいんですが、この大判でいこうという方の挙手をお願いします。(6名)では、こちらのA3版という方は。(多数) それでは、A3版の4枚もので印刷するということです。</p>
辻野委員	<p>河内長野駅を基点、終点にする路線という表示をもっと大きくされたほうが良いのかなと。青葉台の件はここにはまだ入れないんですよ。</p>
事務局 (水上主査)	<p>同じように変更します。</p>
井戸委員	<p>何部出るんですか。</p>
事務局 (松坂)	<p>全戸配布を考えているので、だいたい5万部くらいになります。</p>
井戸委員	<p>共通の表紙を作ったら各紙面がもっと有効に使えると思います。カレン</p>

	<p>ダーなら共通の表紙みたいなものがあるじゃないですか。るるぶとかの ような本屋さんに出てるような、あんなふうにすれば各紙面に余裕が出 てくると思います。ページ数は増やすことができるとおっしゃったんで、 同時に費用も余裕があるなら目一杯入れるとか、がんばってください。 よく旅行に持って行くような冊子でありますよね。次をにらんだときに、 情報を今からかき集めたら、今ここに載せてないような、観心寺も先程 の病院の名前とかずいぶん載せられるのではないかなと。</p>
<p>向井会長</p>	<p>それでは、この件につきましてはA3版で刷るということによろしいで しょうか。もしご自宅に帰られてなにかアイデアがありましたら、また 事務局へご連絡いただくということによろしいでしょうか。</p>
<p>向井会長</p>	<p>【議題7】 最後に、その他案件ということで、なにかご意見ございましたらいた だけますでしょうか。</p>
<p>事務局 (井上課長)</p>	<p>次回の開催でございますが、9月終わりに19回目を考えておりますの で、詳細につきましては事務局から送付させていただきますので、よろ しくお願いいたします。</p>
<p>向井会長</p>	<p>9月の末ということは、これができて皆さまにお披露目してから配ると いうイメージですね。 貴重な意見、議論をいただきまして、第18回公共交通会議を終わりたい と思います。本日はありがとうございました。</p>

河内長野市地域公共交通会議委員名簿

平成25年7月3日(水) 午後3時30分から 河内長野市役所 602会議室

	氏名	所属・役職	代理出席
会長	向井 一雄	河内長野市 副市長	
副会長	日野 泰雄	大阪市立大学大学院工学研究科 教授	
委員	伊勢 昇	和歌山工業高等専門学校環境都市工学科 准教授	
委員	田中 秀人	国土交通省近畿運輸局大阪運輸支局総務企画部門首席運輸企画専門官	野村
委員	藤本 和往	国土交通省近畿運輸局大阪運輸支局輸送部門首席運輸企画専門官	
委員	浅井 敏彦	大阪府 都市整備部 交通道路室 都市交通課 公共交通計画グループ 課長補佐	
委員	森口 治	大阪府富田林土木事務所 地域防災監兼地域支援・企画課長	
委員	川幡 一哉	大阪府河内長野警察署交通課長	渡辺
委員	植田 光昭	南海バス株式会社企画部企画課長	
委員	奥村 夏男	南海バス株式会社営業部営業課長	
委員	坂本 頼幸	南海バス株式会社 労働組合代表	
委員	池谷 育晃	大阪第一交通(株) 河内長野営業所長	
委員	椋本 専次	近鉄タクシー(株) 藤井寺総合営業所長	欠席
委員	曾和 孝司	河内長野市老人クラブ連合会会長	
委員	阪上 明	河内長野市観光協会相談役	
監事	井戸 清明	河内長野市商工会理事	
監事	濱本 友美	市民代表	
委員	堀 泰明	市民代表	
委員	徳田 博久	河内長野市健康増進部長	
委員	内見 宏昭	河内長野市産業振興部長	欠席
委員	宮川 祐次郎	河内長野市都市建設部長	
委員	辻野 修司	河内長野市総務部長	
委員	中谷 眞久	河内長野市市長公室長	